臨床研究 に関する情報の公開

当院で腹腔鏡下膵体尾部切除術を受けた患者さまの試料・情報を用いた
研究　　へのご協力のお願いについて

項　目	内　容
1．研究課題名	小規模施設における腹腔鏡下膵体尾部切除術の若手教育：手技の定型化と短期成績
2．研究の対象者	関西電力病院において，2021年1月1日から2026年10月31日の間に，膵体尾部腫瘍に対して腹腔鏡下膵体尾部切除術を受けられた患者さま
3．研究期間	倫理審査委員会承認後から2027年7月13日
4．研究実施体制 研究責任者 共同研究者 共同研究機関	 関西電力病院　外科　稲本道 関西電力病院　外科　藤本貴士，川上峻暉，西山和宏，尾川諒太郎，吉澤淳，滝吉郎，河本泉 無し
5．本研究の意義・目的	腹腔鏡下膵体尾部切除術（LDP）は低侵襲手術として広く普及していますが、症例数が限られる小規模施設では、若手外科医への手術教育には課題があります。当科では手技を定型化し，習熟度に応じて若手外科医によるLDP執刀を積極的に導入しています。しかし術者選択による治療成績の差についての系統的評価はなされておらず、その臨床的妥当性を明らかにいたします。
6．研究の方法	対象期間において、指導医と若手外科医が執刀したLDP症例の患者背景や手術成績および転帰を後方視的に解析いたします。
7．研究に用いる試料・情報の種類	診療録より、年齢，身長，体重，ASA-PS，病歴，血液検体結果、画像検査結果、手術成績（手術時間・出血量）、経過経過（合併症・術後膵液瘻の有無）、転帰（在院日数）
8．試料・情報の保管方法と廃棄方法	施錠可能な部屋内のパソコンを用い、パソコン本体及び解析に用いる電子ファイルへそれぞれ異なるパスワードを設定し、厳重に管理します。研究発表後5年間保管した後、完全に廃棄・削除し、複数名にて確認します。
9．個人情報の保護について	情報収集には、診療ＩＤや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。 本研究は、既存の診療情報を用いて行う後ろ向き研究であり、研究対象者から文書または口頭による同意を得ることが困難なため、オプトアウト方式にて実施します。研究への参加を希望されない場合は、１１．問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10．情報管理責任者	関西電力病院　外科　稲本道
11．問い合わせ・苦情等の窓口	関西電力病院　外科　稲本道 大阪市福島区福島2-1-7　　TEL:06-6458-5821　FAX:06-6458-6994